



クロスパン・フォト・レター

令和2年2月20日
第9号
長野県伊那北高等学校

「クロスパン・フォト・レター」は、伊那北高校の日常の様子を写真でお伝えすることで、本校の教育活動の一端を紹介し、進学を考える上での参考にしていただければと、平成21年度から月1回程度のペースで発行しています。

課題研究発表会



生物1班	マイクロプラスチックが生態系に与える影響
生物2班	天竜川水系における魚類の保全についての研究
化学1班	チョークの成分と書き味について
化学2班	河川水成分の採水時期による変動
物理1班	音の吸収と布の特徴
物理2班	紙飛行機を遠くまで飛ばす条件
数学班	オセロの盤面変化による影響
地学班	液状化現象の発生と間隙水の密度



2月1日(土)同窓会館二階において、理数科2年生が課題研究発表会を行いました。4月から行ってきた研究の成果を保護者・地域の方々・中学生・理数科1年生に向けて発表をしました。(80名を超える保護者・一般の方々にご参加いただきました。)

また、首都大学東京理学研究科准教授福田公子先生、県教育委員会学びの改革支援課指導主事の奥原靖彦先生、総合教育センター教科教育部専門主事小林孝次先生をお招きし、ご講評をいただきました。先生方からは「研究がうまくいったことが成功ではない、論理的に考えることが重要である。」「実験で見つけたちょっとした変化を掘り下げるか、掘り下げないかで研究が大きく変わる。」「大変わかりやすく、身近な事象から疑問を持ち、高校生らしい実験の手法を使っていた。」などのお言葉をいただきました。

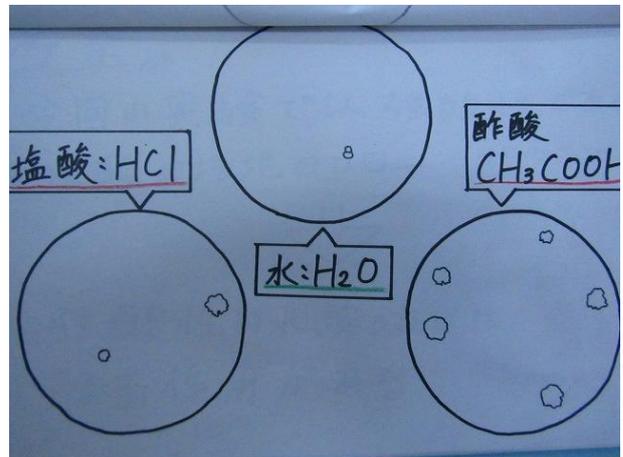
午前中にミニ課題研究発表会を終えた1年生が今後どのような研究や発表を行うのか楽しみです。

総合的な探究の時間学習成果発表会



2月1日(土)、小体育館において1学年普通科総合的な探究の時間学習成果発表会が行われました。これまで生徒たちは、国連で採択された「持続可能な開発目標(SDGs)」を意識しつつ、地域の身近な問題を見つけ、現状を把握し、その解決策を考えてきました。具体的には、「こんにちは先輩」の時間に本校を卒業した先輩方が現在取り組んでいることなどを学んだり、「フィールドワーク」の時間に地域の企業や諸施設を訪問し、その活動や取り組みを学んだりしてきました。各クラス10班(計50班)が小体育館に集まり、時間を区切ってポスターセッションを行いました。参観者にわかりやすく説明するために、模造紙に絵やグラフを表示するなど、工夫が施されていました。

ミニ課題研究発表会



2月1日(土)に生物教室において1学年理数科ミニ課題研究発表会が行われました。「細菌培養を用いた研究」をベースとして、「PHの差によるコロニー繁殖の違い」、「手洗いの方法と菌の数などの関係」、「シンクの清潔さを保つには？」など各班自由にテーマを設定し、実験方法を考えて観察を行いました。当日は各班5分間の中で手書きの紙を投影し、目的・実験方法・結果・考察を発表しました。以前ニワトリ胚の観察でご指導いただいた首都大学東京の福田公子先生にもお越しいただき、講評をいただきました。

伊那北高校のHP(ホームページ)
<http://www.nagano-c.ed.jp/ina/>

学校に対するご意見・ご要望は上記のHP内メールまたはTEL0265-72-2221(代表) 教頭 松村までお願いします。